



# The 40th Interim Business Report

第40期 第2四半期報告書 平成28年1月1日～平成28年6月30日

BP カストロール株式会社



# 株主の皆様へ・営業概況

## To Our Shareholders & Review of Operations

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、BPカストロール株式会社[第40期 第2四半期報告書]をお届けいたします。

### 当期の概況

自動車業界におきましては、小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車が消費者からの根強い支持を集めておりますが、新車販売台数に関しましては、今年に入っても前年実績を下回っており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、オートマチックミッション用オイルの拡販に引き続き焦点を当てております。中でも

エンジンオイルの「カストロール プロフェッショナル」は、製造から廃油までの全ライフサイクルにおいて排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を、製造工程での削減活動に加え、ケニアの森林保全、中国のバイオマス事業、ニューカレドニアの風力発電などの排出削減プロジェクトに投資することで実質ゼロに(相殺)するものであり、付加価値の向上を図っております。また、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できる特長を持つエンジンシャンプーの拡販により、引き続きエンジンオイル関連製品の充実にも注力しました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は6,045百万円、営業利益は1,189百万円、経常利益は1,209百万円、四半期純利益は779百万円となりました。

■ 当社の直近3年の上半期の売上高 単位:千円、()は構成比率%

	1~3月	4~6月	1~6月合計
2014年	2,932,553 (45.1)	3,572,534 (54.9)	6,505,087
2015年	2,757,842 (45.3)	3,333,278 (54.7)	6,091,120
2016年	2,750,092 (45.5)	3,295,479 (54.5)	6,045,571

■ 直近3年の上半期の新車販売台数 単位:台

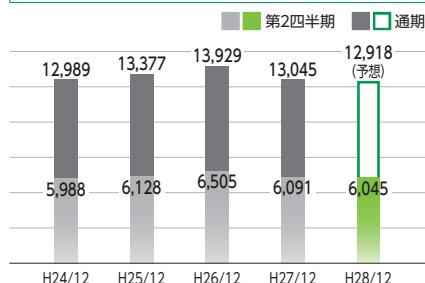
	1~3月	4~6月	1~6月	前年比
2014年	1,844,615	1,161,133	3,005,748	110.8%
2015年	1,578,856	1,097,726	2,676,582	89.0%
2016年	1,470,083	1,077,231	2,547,314	95.2%

(出典:日本自動車販売協会連合会)

## 財務ハイライト Financial Highlights

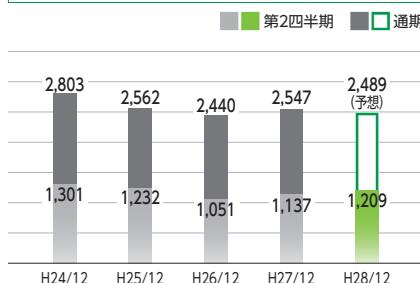
### 売上高

単位:百万円



### 経常利益

単位:百万円



### 四半期純利益

単位:百万円



## 今後の見通し

新車販売台数が伸び悩む中、自動車用潤滑油市場としても新たな需要の押し上げ要因は見当たらず厳しい市場環境が継続すると予測しております。

当社といたしましては、中期5ヵ年計画(2013-2017)の販売戦略である環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、オートマチックミッション用オイルの拡販に引き続き焦点をあて、更に先述したCO<sub>2</sub>ニュートラルとして認定された「カストロール プロフェッショナル」などの商品を消費者へ訴求することで高付加価値商品の構成比向上を図ってまいります。加えて、新規取扱店の拡大、並びに原価低減・コスト削減への取り組みを継続することにより、年初の計画である売上高12,918百万円、営業利益2,485百万円、経常利益2,489百万円、当期純利益1,547百万円を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、「Castrol」ブランドおよび「BP」ブランドへの変わらぬご愛顧と、当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月

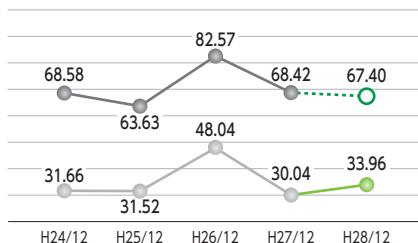


BPカストロール株式会社  
代表取締役社長 小石 孝之

### 1株当たり四半期純利益

単位：円

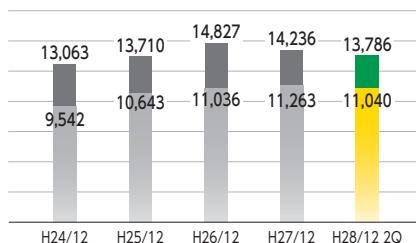
● 第2四半期 ○ 通期



### 純資産／総資産

単位：百万円

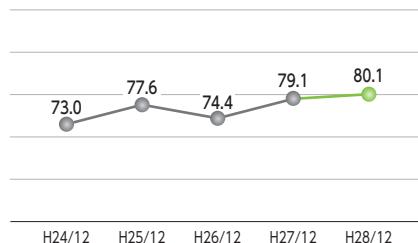
■ 純資産 ■ 総資産



### 自己資本比率

単位：%

● 通期 ● 第2四半期



## カストロール エッジ 春プロモーション

春の需要期にカーショップチャンネルにおいて、全合成油“カストロール エッジ”に焦点をあてた店頭プロモーションを実施いたしました。

今回は更なるユーザー拡大のため、店頭でのPOPによる告知に加え、ツイッターやヤフーといったデジタル媒体を駆使し、既存のカーショップ利用者だけでなく、特に若い世代へ幅広く告知いたしました。

結果として、全応募者の20%以上に相当する購入者を他の販売チャンネルから誘導し、また実施期間中の販売金額も前年比105%を達成し、2016年上半年期の売上に大きく貢献することができました。

また、“カストロール エッジ”を通じた高単価・高付加価値商品ユーザーの拡大に加え、従来通りエンジンシャンプーも対象商品に含めることにより、成熟した市場環境にありながらも、新しい需要の創出を促進することで、市場の再活性化および当社ビジネスの継続的な成長を目指しました。



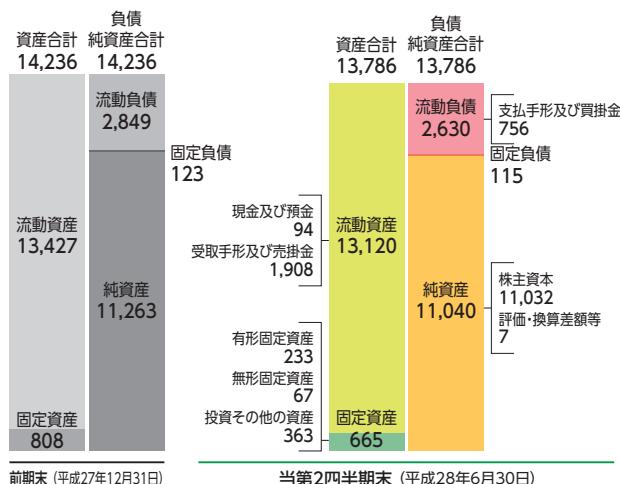
カーショップ向けプロモーション

## インターネットチャンネルの拡大 (eコマース)

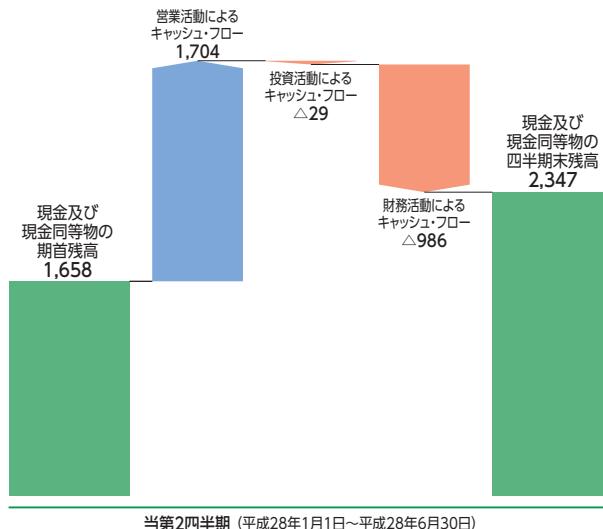
近年のオンラインショッピングのトレンドに沿って、eコマースチャンネルの拡大を進めております。新たな売り場として、消費者に分かり易い詳細な製品情報・動画を掲載し、価格訴求以外での付加価値提供を行っております。プロモーションを開始し、6月度は過去最高の売上を記録いたしました。今後とも消費者の消費動向に合わせたインターネットチャンネルの活用を促進してまいります。

● 単位：百万円、百万円未満切り捨て

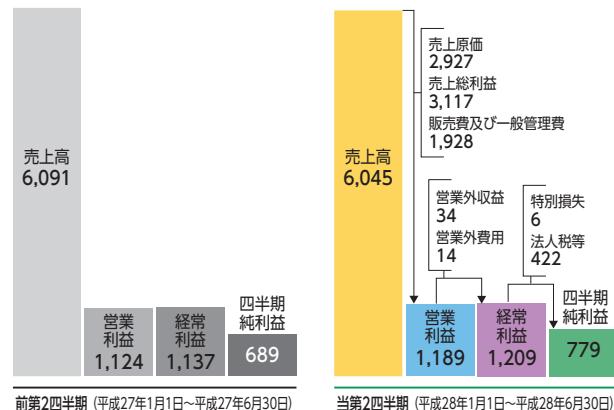
### 貸借対照表の概要



### キャッシュ・フロー計算書の概要



### 損益計算書の概要



### ● 売上高

売上高は、社の強みであり消費者の関心も高い環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、オートマチックミッション用オイル、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるエンジンシャンプーの拡販等に注力することで6,045百万円となりました。

### ● 純資産

純資産の残高は、11,040百万円(前事業年度末は11,263百万円)となり、223百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により779百万円増加し、剰余金の配当により987百万円減少したことによるものです。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,704百万円となりました。これは、主に税引前四半期純利益が1,202百万円、売上債権の減少799百万円、その他の資産の減少153百万円、その他負債の増加274百万円により資金が増加した一方、仕入債務の減少271百万円、未払金の減少331百万円及び法人税等の支払い265百万円により資金が減少したことによるものであります。

### 会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社 英文名:BP Castrol K.K.
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.cが持つCastrolブランド およびBPブランドの自動車用潤滑油を日本市場 に合わせる製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	109名(19名) (注)臨時従業員数は、( )内に年間の平均人数を外数で記載 しております。
子会社	ビーピー・ルブリカンツ株式会社 カストロール株式会社

### 役員

取締役会長	チャールズ・ポッスルズ
代表取締役社長	小石 孝之 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役	長浜 靖子
取締役	渡辺 克己
取締役(監査等委員)	東松 国明
取締役(社外、監査等委員)	松竹 直喜
取締役(社外、監査等委員)	渡邊 直文

### 株式の概況

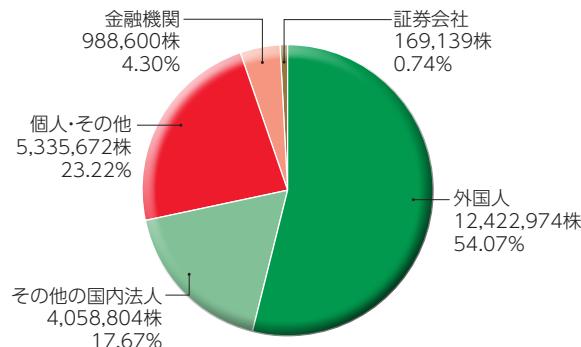
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	8,298名

### 大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.24
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.58
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	283,400	1.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	131,300	0.57
鈴木 育男	110,000	0.47
三島 泰	100,500	0.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	100,200	0.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	89,100	0.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	88,300	0.38

(注)出資比率は、自己株式を含む発行済株式の総数に対する比率を表示しています。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。	

### ●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●配当金計算書の送付について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告される際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 「コーポレートガバナンスに関する基本方針」制定のお知らせ

当社は、第39回定時株主総会での決議を経て、監査等委員会設置会社に移行いたしました。新たな企業統治形態の下、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資することを目的とし、経営ビジョン実現のため当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方の指針を定めました。当社ホームページで詳しい内容を掲載しておりますのでご覧ください。

[http://www.bp.com/ja\\_jp/bp-castrol-japan/HSSE/CG.html](http://www.bp.com/ja_jp/bp-castrol-japan/HSSE/CG.html)



BP カストロール株式会社  
<http://www.bpcastrol.com>



カストロール ブランド  
<http://www.castrol.com/jp>



BP ブランド  
<http://www.bp-oil.co.jp>

## BP カストロール株式会社

本社 IR担当 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階  
TEL:03-5719-7750  
URL:<http://www.bpcastrol.com>

証券コード 5015



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」製本を採用しています。